



市長随筆



天草御所浦ジオパーク

何千万、何億年という途方も無い年月を経て地球が造りだした宝、御所浦の白亜紀の地層や化石と、これを活用した修学旅行などの取り組みが高く評価され、10月28日、「天草御所浦」が、日本ジオパーク委員会から認定されたという、大変うれしい知らせがありました。

ジオパークとは、地質学のジオロジーと公園のパークから創られた言葉で、地球科学的に見て貴重な特徴を持つ地域を含む自然公園を意味します。そして、これを保全し、観光などを通じて地域活性化につなげようというものです。今回は、阿蘇が同時に認定、

また、お隣の島原半島は、今年8月に、世界ジオパークの認定を受けています。くしくも、阿蘇とは九州新幹線全線開業に向けた取り組み、また、島原半島とは今年3月「雲仙天草観光圏計画」を策定したことを思うと、何億年というときを超え、今、連携して活しなさいと言われているような気がします。

天草市長 安田 公寛



わ かつ さい 若っ喝采

牧田みちるさん(御所浦町牧島・27歳)

父といっしょに地元の簡易郵便局で仕事をしています。地域のおじいちゃんやおばあちゃんと世間話をしながら、楽しく過ごしています。御所浦は、空気が澄んでいて夜空に輝く星がとてもきれいです。10月のオリオン座流星群も少し曇り空でしたが、とてもきれいに見えましたよ。



宝島の健康 よろず屋

柳本ナルエさん (河浦町宮野河内・80歳)

—— 毎日の楽しみは？
ラジオを聞くことです。私の1日は、朝に布団の中でラジオを聞くことから始

まります。世界中のでき事をいち早く教えてもらえ、懐かしい歌も流れます。テレビは目が疲れますが、ラジオは疲れることはありません。私の大の友だちです。
—— 健康の秘けつは？
身体を動かすことと、清潔に暮らすことがいちばんです。また、ラジオでニュースなどを聞いて考えたり、歌を聞いていっしょになって歌ったりすることも健康に良いのかもしれない。



▲ドッジボールががんばるぞー！オー!!

笑顔・元気・愛いっぱいのお亀場幼稚園

お亀場幼稚園(亀場町)

お亀場幼稚園(田中美鈴園長・全園児54人)では「集団生活を楽しみ、人とかわる力やみずからの力で行動する態度を養い、健康で心豊かな園児を育成する」を教育目標として、一人ひとりが安心して自分を出し、充実感を味わえるような保育を目指しています。園の周辺は、自然や人的環境に恵まれていて、高齢者の集い「十日会」でのこっぴもち作りや「すくすく稜南会」でのあいさつ運動、小学生といっしょに町をきれいにする「亀っ子クリーン作戦」など、地域との交流も深めています。今後も、さまざまな体験を通して、やさしさや思いやり、感謝する心を育み、心豊かに生きるための基盤づくりに努めたいと思っています。

「心も体も元気な島子っ子」を 目指して

島子保育所(有明町)

島子保育所(杉本富香所長・全園児33人)は、小学校も近くにあり、ふだんから地域の人たちに見守ってもらえる場所にあります。10月のお祭りごっこでは、昔から伝わる「練りごっこ」を覚えて大きな声で言いながら歩き、地域の人たちに喜んでもらいまし

た。また、野菜や稲作り、干し柿の紐つけなど、さまざまな体験を通じた活動も行っています。このほか、保護者による保育参加では、家庭と園と地域で「ともに育てあつ心」をさらに深めています。今後も、ふれあい・育ちあいの中で「明日も〇〇ちゃん」と遊ぼう」と期待を持たせる保育を心がけ、家庭的な雰囲気の中で「心も体も元気な島子っ子」を目指していきます。



王子様とお姫様に変身して「はいチーズ」!



みんなでイモ掘り。今年もたくさんとれました。

みんなでいっしょにがんばっています!

金焼小学校(下浦町) 5年 吉田朱里

私たち金焼小学校は、全校児童20人の少人数の学校です。今年、学校では「【〇〇名人】になります」をしています。一人ひとりになりたい名人を紙に書いて、その名人になるためにがんばっています。私は『字を早く書く名人』を目指しています。

縦割班の活動では「野菜作り」と「イモ作り」をしています。この前、イモ掘りをしました。フリー参観日には、地域のおばあちゃんたちと、おいしいおイモ料理も作りました。ほかにも、金焼地域のみなさんといっしょの運動会、活性化花壇での花植え、一日一汗運動でのゴミ拾い活動などを行っています。小さい学校ですが、地域のみなさんといっしょにがんばっています。

ぼくのわたしの学校生活 自慢

お世話になった人たちの 気持ちに胸を

牛深中学校(牛深町) 3年 松下歌歩

私たち、牛深中学校駅伝チームは、郡大会で男女アベック優勝を達成し、県大会では男子が準優勝、女子は5位入賞という結果を残すことができました。毎日の練習はとて

もきつく、逃げてしまいたい時もあったけど、チームみんなで励まし合いながら乗り越えてきました。しかし、これまでの成績は選手だけの力ではありません。毎日熱心に指導していただいた先生・コーチ、毎週朝早くから試走の送迎をしてくださった保護者など、たくさんの人たちの協力や応援があったからこそだと思っています。



郡大会の優勝旗を手に「ナンバーワン」!